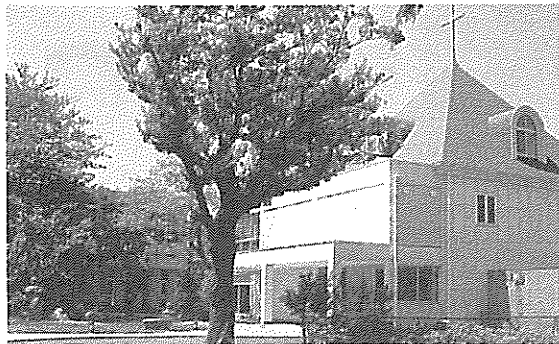


CBC NEWS



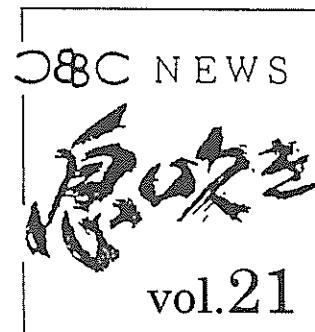
風化しない十字架

歴史は繰り返すと言われる。そうかもしれない。一方、歴史が風化することもある。グローバルな出来事や、国家的な事件などについては、文字や、写真、映像という媒体を通して記録が残されている。プライベートな

あれこれも日記やアルバムにその思い出が整理されているだろう。そして人々の心に記憶として。しかし、過去の歴史の経緯をどれほど綿密に、一例えばタイムカプセルなどに一保存したとしても、風化現象は容赦なくやってくる。というのは、歴史自らが過去を語りだすことをしないからだ。誰かが、しかも出来事の当事者でないものが、それをしなければならぬ。当然そこには不確定性があり、記憶への不信があり、偏見が入り込む。こうして風化が加速する。

あれほど世界を震撼させた九月十一日の事件ですら、犠牲になった人々との親密度や、現状からの地理的な距離、それに時間の流れ、個々の生活環境の変化など様々な要因と微妙に比例して、少しずつあの時の実感が遠のいて行くに違いない。原爆の傷跡も、阪神大震災の生々しさも、数世代後になると、社

そのような現実の中で、驚くことに二〇〇〇年も経っている今日、全く風化していない出来事がある。それは歴史の経緯の中に起こった単なる事件ではなく、神の経緯、つまり永遠の摂理に組み込まれていた事柄だからである。しかもそれが毎日に生き生きと人々の心に強烈にのみがえっている。イエス・キリストの十字架の死と復活という事実がそれだ。使徒パウロは「それは、イエスの御名によって、天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるもののすべてが、



会科の教科書に見る活字と挿し絵からどれほどの痛みを感じ取れるのだろうか。

ひざをかがめ、すべての口が、『イエス・キリストは主である。』と告白して、父なる神がほめたたえられるためです」(ピリピ二・一〇一)と十字架が風化しない理由を述べている。主キリストの十字架の死によってもたらされた永遠のいのちは、今も我々の内に脈々と息づいている。そしてそれが伝道へ、宣教へと我々を駆り立てているのである。

風化しない十字架の真理に加えて、風化させてはならないものがある。起伏の激しい経験をした使徒ペテロは、宣教の現場に立った時の指針として、「兄弟たちよ。ますます熱心に、あなたがたの召されたことと選ばれたこととを確かなものとしなさい。これらのことを行なっていれば、つまりくことなど決してありません」(IIペテロ一・一〇)と我々に語りかけている。特に卒業して行く諸君に。

CBC NETWORK

・一月二六、二七日、第一三回JEA信教の自由セミナーがチャペルにて開催された。

・一月二三日、献身者準備会があり、四名の入学希望者が参加した。

・一月三〇日、教師らと共にクリスマス祝会が持たれた。

・二月八日、一月一九日まで、学生は全国諸教会で冬期実習を行なった。

・一月二一日、学生総会があり、新学生会長、副会長、会計、書記、寮長らを選出された。

・一月二二、二五日には神戸ルーテル神学校校長・橋本昭夫師が「宗教改革の神学」を、二月五、九日にはダビデ・ハイムス師が「旧約研究」を研究科・ブロック授業で教えて下さった。また、第一、第三ブロック授業では伊藤顯榮師、柏崎久雄師、堀川寛師が教えて下さった。

・一月二七日、日本宣教のため近く来日される、オーストラリアのロッド・ブラマー師がチャペルでビジョンを語って下さった。

・一月三〇日、玉川吉昭師が「キリスト者から見る、ハンセン病とその歴史」を特別講義で教えて下さった。午後からは、教師らと一緒にちつき大会を楽しんだ。

・二月九日、分校のスクーリングが行なわれた。

・二月一五日、学生伝道集に石井まれ氏を招いて、特別賛美集会が持たれた。

・三月一日、卒業夕食会が持たれ、卒業を祝った。

・三月五日、第五二回卒業式があり、一三名の卒業生を送り出した。アジア太平洋教育事務局総主事ベンジャミン・サン師が御言葉をとりついで下さった。

後援会のご案内

中央聖書神学校が教団の伝道者養成期間として発足以来、すでに五一年を数えておりますが、その間多くの方々の協力と献げ物と奉仕によって幾多の伝道者、働き人がこの学舎から輩出されたことは感謝であります。

さらに学校の設備に充実とゆとりのある運営がなされるためには、多くの方々のご賛同を必要としております。どうぞこの点をご理解いただき、是非本会にご入会くださるよう心よりお願い申し上げます。

中央聖書神学校後援会
会長 山田 亘

後援会入会要領

個人会員 一口年五千元
法人会員 一口年一万円
☆連絡は中央聖書神学校内後援会宛にお願い致します。

編集

後記

いよいよ駒込山を降りる日がやって来た。

「学び舎を天国にするも牢獄にするもあなた次第」私達の入学の時、北野先生は言われた。あれから三年、牢獄に思えたこの学び舎も天国になった。

天国は主のおられるところ。先生方の中、友人達の中で、キリストは生きて働いておられた。これからは遭わされる場所を主が住まわれる場所としよう。

二〇〇二年、卒業。

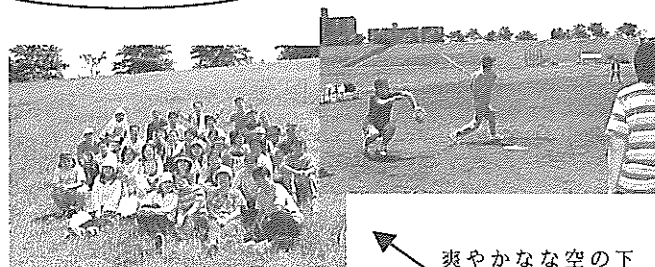
私に神が委ねてくださる教会がある。感謝！ハレルヤ！

(H・F)

編集スタッフ

菅原 洋子 内田 信恵
日吉 成人 測上 博子
竹中 範明 山岸よしあ
宮澤 幹彦 古川 雅香
編集責任者 白石 禎男
事務局 中央聖書神学校
豊島区駒込三二一五二〇
FAXTEL 〇三・三九一八・四九二五
〇三・三九一八・四〇九九

スポーツ大会



爽やかな空の下
でどろんこになって
運動をしました!!

CBCしゃしん館
パート2

前回に引き続き、CBCでの行事を写真
で紹介しま〜す!!



学生と教師との温
かい交わりの時間を
もちました!

クリスマス祝会

海外宣教祈禱会



全生園訪問



献身者準備会



中央聖書神学校学生募集

主の御声を聞いている者よ、来たれ!
入学資格: 受洗後2年以上を経た忠実な教員
高校卒業以上

住所: 〒170-0003 東京都豊島区駒込3-15-20

電話番号: 03-3918-4925

<http://www.cbc-j.ac.jp>

入学案内は学校事務所にお申し出下さい。

●二〇〇二年三月末日
石原嘉宣 中央聖書教会
伊藤順榮 篠原教会
北野耕一 米国宣教師
白石禎男 品川ペテル教会

●二〇〇一年三月末日
佐布正義 中央福音教会

人事報告
中央聖書神学校において長
期に渡り、ご指導をして下さ
った、次の先生方が、教授を
退任されることになりました。

Congratulations

Congratulations

業
ございます
3.5

主の御名を賛美致します。
4年間の神学校生活が守られ
たことを心から主に感謝致し
ます。この神学校生活では本
当に色々なことがありました。
感謝なこともあれば、何故と
思うようなことも度々。しか
し、どのような時であつても
主は私と共に導いて下さ
さいました。「あなたの行く
所どこにおいても、主を認め
よ。そうすれば、主あなたの
道をまっすぐにされる」(箴
言三章六節) これからも主
により頼みつつ歩ませていた



一 会
教 須 賀 崎 光
横 柿

「あなたがたのうちに働
きかけて、その願いを起こさ
せ、かつ実現に至らせるのは
神であつて、それは神のよし
とされるところだからであ
る。」(ピリピ三章十三節) 献
身前に与えられた御言葉の一
つが、今心に響いています。
主は小さき者である私に、在
学中に函館開拓という尊いビ
ジョンを与えて下さり、一歩
ずつ道を開き備えて下さいま
した。この背後には多くの
方々の祈りと励ましと協力が



子 会
教 召 神 原 洋
任 地: 函 館 開 拓
札 幌

卒業するにあたり、主を賛
めたたえ感謝します。
神学校生活を送り、自分の
足りなさを知れば知るほど主
の愛と憐れみを知りました。
小さいことですら忠実にでき
ない私を見て失望せず、何度
も何度もあきらめずに待って
いて下さいました。また、家
族や、愛する先生方、教会の
方々より霊的に経済的に支え
て頂きました。人は一人で生
きていくのではなく、キリス



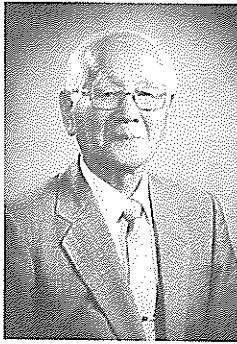
国 台 教 会
三 春 洪
浜 横 洪
国 韓 洪

トを頭とし、愛する方々と共
に御国を前進する素晴らしさ
を学びました。主と愛する
方々に「ありがとうございます
」を贈ります。



子 会
教 隆 田
任 地: 長 岡 京 開 拓
山 七 任

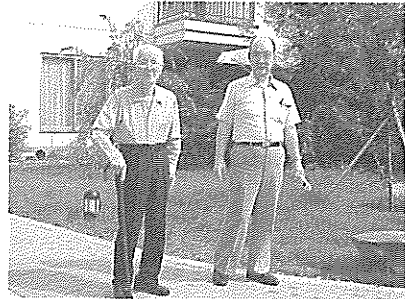
主の御名を賛美申し上げます。
多くの先生方や教会の兄
弟姉妹の尊いお祈りと献げ物
によりまして、また家族に支
えられやつと卒業の日を迎え
ることが出来ました。休学中、
真暗闇の中で神様を見上げ、
聖書の御言葉だけに信頼して
歩むことを学ばせて頂きまし
た。小さな者ですが更に御前
に遡りつつ、「希望は神様か
ら来る」ことを大きな声で伝
えていきたいです。どうか
これからもお祈り下さいま
すようお願い申し上げます。



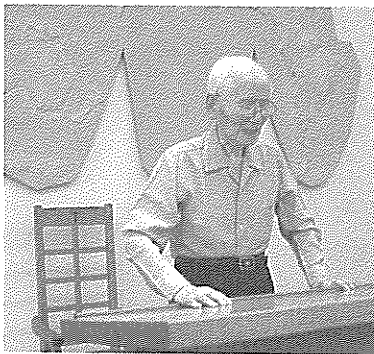
学生の心に残る弓山先生の声

- ・ 万巻の書を読み、一書の人となれ
- ・ 信仰は幼子のように単純、素直に。
- ・ 思想は複雑に、諸分野の知識を比較、蓄積し、選択能力をつけよ。その全ては伝道のためである。
- ・ よろ学び、よろ祈れ。

- ・ 学問水準が上がるのは結構だが、それによって信仰が不鮮明になるようでは、本当の学問ではない。
- ・ 「今年は大勢で、13名が卒業します。」との報告に、「そうか。いや、少ない。まだじゃ、まだまだ足りん」



校庭を石原師と－2001年8月



祝福の祈り－2001年8月

- ・ 人生は小さなことの積み重ねじゃ。
- ・ イザヤ書40:31の御言葉を読まれて、「始終31歳じゃ！」
- ・ 伝道者は温室育ちじゃだめじゃ。
- ・ 河海不挾細流…大きな河や海は、どんな小さな流れも拒まず受け入れるから大きくなる。
- ・ 歡喜雀躍…雀が踊るように、私たちの心も神を喜び踊ろう！（飛んだり跳ねたりするのではなく心が…）
- ・ 後ろばかりを振り向いてたらいかん。ロトの妻の様に塩の柱になってしまうんじゃあ。十字架を見上げて前進、前進 前進するんじゃ。
- ・ 司令官というものは孤独なんじゃ。



弓山喜代馬師白寿記念会－1998年7月

Congratulation

Congratulation



重 本 基
江 戸 川 台 教 会
任 地: 江 戸 川 台 教 会

神学校三年間の早さに少々

主の御名を讃美します。皆様のお祈りとささげ物を感謝します。「私の霊によって」というみことばの通り、神学校生活では、聖霊様に教えられ、助けられ、みわざを見させていただきました。みことばの奥義を教えられ、「できない」と思うことも成してくださいました。さらに、友との交わりの中で多くの恵みを分かち合いました。「人にはできないが、神にはできる。」と言われた主にゆだねて従っていきます。どうぞお祈りください。



奥 田 由 己 子
江 戸 川 台 教 会
任 地: い わ き 教 会



竹 中 友 美
小 岩 栄 光 教 会
任 地: 小 岩 栄 光 教 会

CBCでの三年間は、私の歩みの中で最も「出会い」の多い三年間でした。私はここで、さらにリアルにイエス様と出会い、多くの人々と出会い、その交わりの温かさを知りました。神様と人々に愛さ

戸惑いを覚えていきます。神学校は私にとって「自分を知り神を知る」恵みの場所でした。日々召しの確認をしながら「ヤコブの格闘」もしました。母教会の兄姉をはじめ、全国諸教会のサポートと熱い祈りに主は応えて、御霊によってここまで私を支え導いて下さいました。お祈りを心から感謝いたします。今や、卒業前に与えられた(第二テモテ二:十)を握って歩み出して行きます。主に栄光がありますように！



日 吉 成 人
泉 佐 野 福 音 教 会
任 地: 泉 佐 野 教 会

ハレルヤ！愛する兄姉の篤き祈りと尊い捧げものに支えられ、主の召しを確認し続け、そして確信する三年間でした。主に在って感謝します。卒業する本年に三〇歳になります。聖霊によって心を新たにされ、キリストの御足の跡を踏み従い、神のため人々のために歩み始めます。暗闇が増す世の終わりの時代にあっ

れていること、神様と人とを愛する喜びを知りました。そして、心から「生まれて良かった」と、「命」が与えられていることの本当の喜びを知ったのです。感謝が絶えません。ただひたすらに、この命の源であるイエス様を表していきます。



子 博 教 会
上 日 人 吉 教 会
任 地: 人 吉 教 会

この三年間、主にあつて多くのところを変えられました。多くのことを学び、数々の試練や、また喜びも経験しました。ここで得たものは主はどんな時にも真実であると言うこと、主に信頼するものは失望することがないということ。この確信にたつて卒業していきます。これまで皆さんに祈られ、支えられた事を感謝します。これからは祈る側として、力あるキリストの証人として誇りをもって主にお仕えしていききたいです。

て、何ものをもっても奪い去ることのできない神の祝福と恵み、そして御言葉の灯火を照らし続けていきます。シャローム！

Congratulation

Congratulation

卒

おめでとう

2002



山本美香
明石教会
任地：明石教会

この三年間主に導かれ、多くの先生方や兄弟姉妹の祈りと献げ物によって支えられたことを心から感謝致します。「収穫は多いが働き手が少ない」(マタイ九章三七節)このみことばに励まされながら、神学校での学びと訓練を通して、多く恵みを受けることができたこと感謝しています。今後も主の御心を求めつつ、御国の栄光を仰ぎながら、これから出会う一人一人を大切に、主イエス・キリストの



池田佳奈
姫路教会
任地：姫路教会

すばらしさを伝えて行きたいです。

1999年4月、不安な思いで駒込山を登った。ところが門をくぐり入った所は、平和で満たされた賛美と祈りと御言葉の山。愛に溢れた先生方、掛替えのないユニークな仲間たちとの出会い。このような素晴らしい環境の中、学びと訓練を与えてくださった主に、そして今日迄支え、励まして下さった皆様から感謝申し上げます。足りない者ですが、憐れみ深い主に委



内田信恵
ベテル・キリスト教会
任地：丸子町教会

ね、これからも祈りつつ従っていきます。

神学校生活を振り返ると、この三年間は自分を見つめ直す時であり、良い師、良い友に恵まれた時もありました。一九九九年の春、期待を胸に駒込山の門をくぐったように、今、主のなさるうとする御業に胸躍らせながら、その門を出ようとしています。祈りと捧げものによって支え励まして下さった母教会・全国諸教会の皆さま、指導し信仰の模範を示して下さいました先生方・



奥田冬樹
江戸川台教会
任地：いわき教会

兄弟姉妹方、そして私の生き方を理解してくれた家族に、心から感謝致します。共にいて下さる主に信頼して歩んで行きたいと思えます。

献身そして神学校入学。誰もがあこがれる道ではないだろうか？救いの喜びに燃え、宣教の情熱を抱き、神様のために生涯をささげて働きたい。その夢がついに実現し、神学校に入学。3年が過ぎ、今こうして卒業を迎えた。今思うのは「目が開かれた」そんな思いである。予想していたのとまったく違う！すごい！神様の愛と恵みとその計画はすばらしい！神のなさることには時になんて美しい。祈りは答えられる！今私は感謝で一杯である。